

SDGs13:気候変動へのアプローチ

「森づくり」
は
「人づくり」

1・ヒマラヤ保全協会とは？

- ・【創立者】
- ・【活動の目的】

2・活動地とこれまでの実績

- ・【活動地】
- ・【活動が必要な背景とは？】
- ・【ヒマラヤ植樹事業20年】
- ・【収入向上事業】 例：織物事業・紙漉き事業・養蜂事業
- ・【活動から実感すること】

3・現状と課題

- ・【共通の財産を守る活動】とは

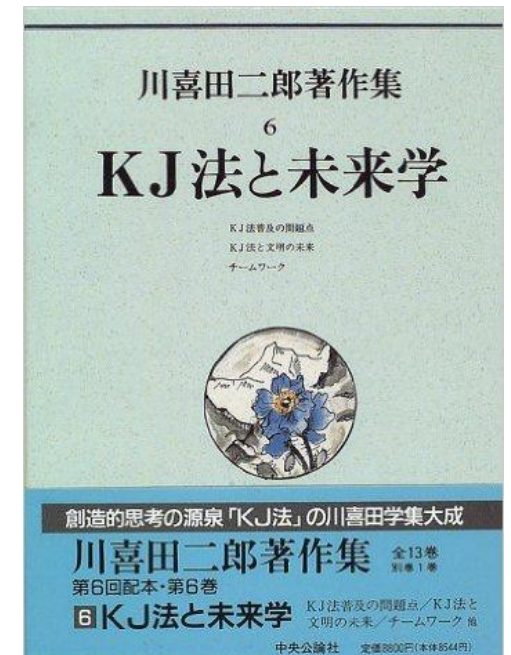
川喜田二郎 文化人類学者・KJ法



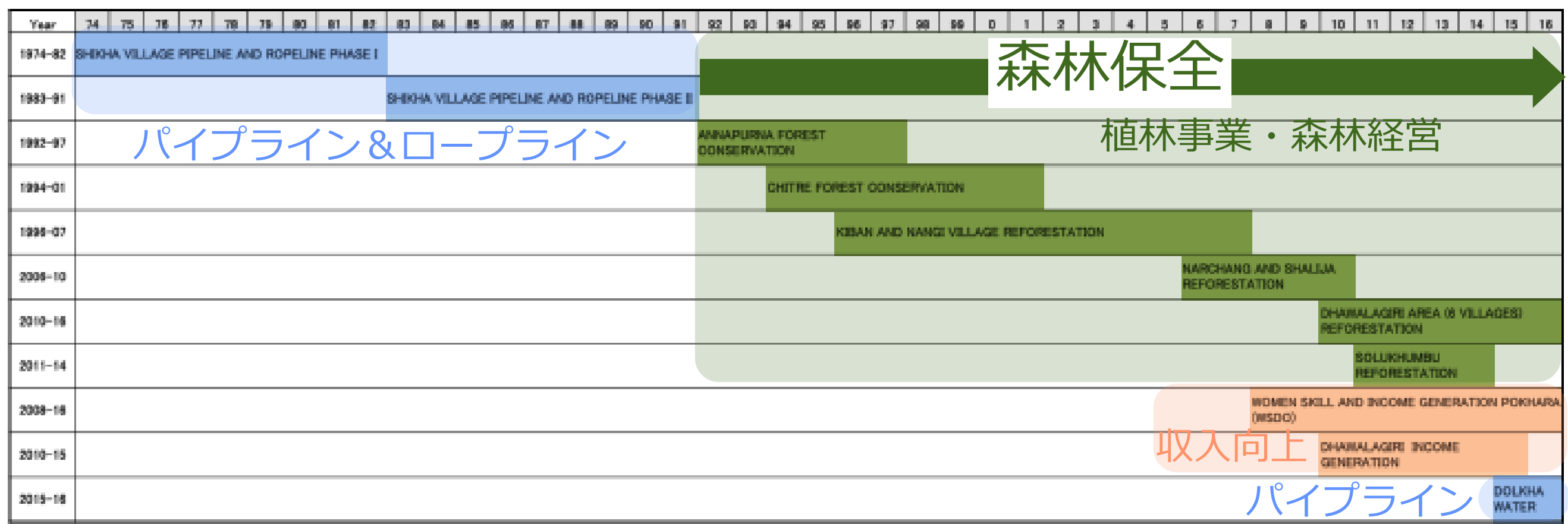
川喜田二郎

- 1953年 川喜田二郎（ヒマラヤ保全協会創設者）が、第一次マナスル登山隊の科学班員としてネパールを調査
- 1958年 西北ネパール学術探検隊（隊長：川喜田二郎）がネパールの文化人類学的学術調査を行う。
- 1963年 日本民族学協会第3次東南アジア稲作民族文化総合調査団（隊長：川喜田）がネパールの文化人類学的学術調査を行う。
- 1974年 前進「ヒマラヤ技術協力会」発足

【草の根聴き取り】 アクション・リサーチ



地球規模の課題解決： 持続可能な生計活動のための森林保全・経営



基盤：植林事業(森林経営)
1996年から20年間

地球規模の課題解決：

【SDGsで表すと ...?】

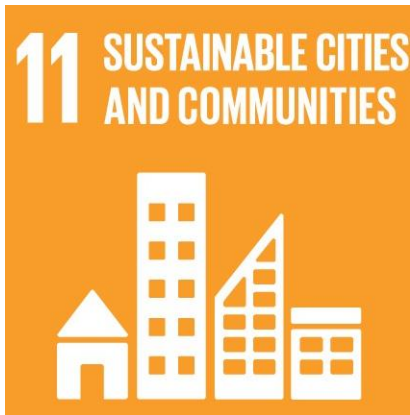
1 NO POVERTY 貧困撲滅	2 ZERO HUNGER 飢餓をなくす	3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING 健康と福祉	4 QUALITY EDUCATION 質の高い教育	5 GENDER EQUALITY ジェンダーの平等	6 CLEAN WATER AND SANITATION 綺麗な水と衛生
7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY 再生エネルギー	8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH 適切な良い仕事と経済成長	9 INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE 新しい技術とインフラ	10 REDUCED INEQUALITIES 不平等をなくす	11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES 持続可能な社会作り	12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION 持続可能な生産と消費
13 CLIMATE ACTION 気候変動への対策	14 LIFE BELOW WATER 海洋の資源を守る	15 LIFE ON LAND 陸上の資源を守る	16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS 平和で公正な社会作り	17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS 目標のために協力する	

地球規模の課題解決：

注目度 1：



気候変動への対策



持続可能な社会作り



貧困撲滅

注目度 2：



再生エネルギー



陸上の資源を守る



目標のために協力する

【気候変動】 【持続可能な社会作り】 【貧困撲滅】
【再生エネルギー】 【生物多様性】 【協力】

地球規模の課題解決：

1 NO POVERTY

貧困撲滅

11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES

持続可能な社会作り

7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY

再生エネルギー

17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

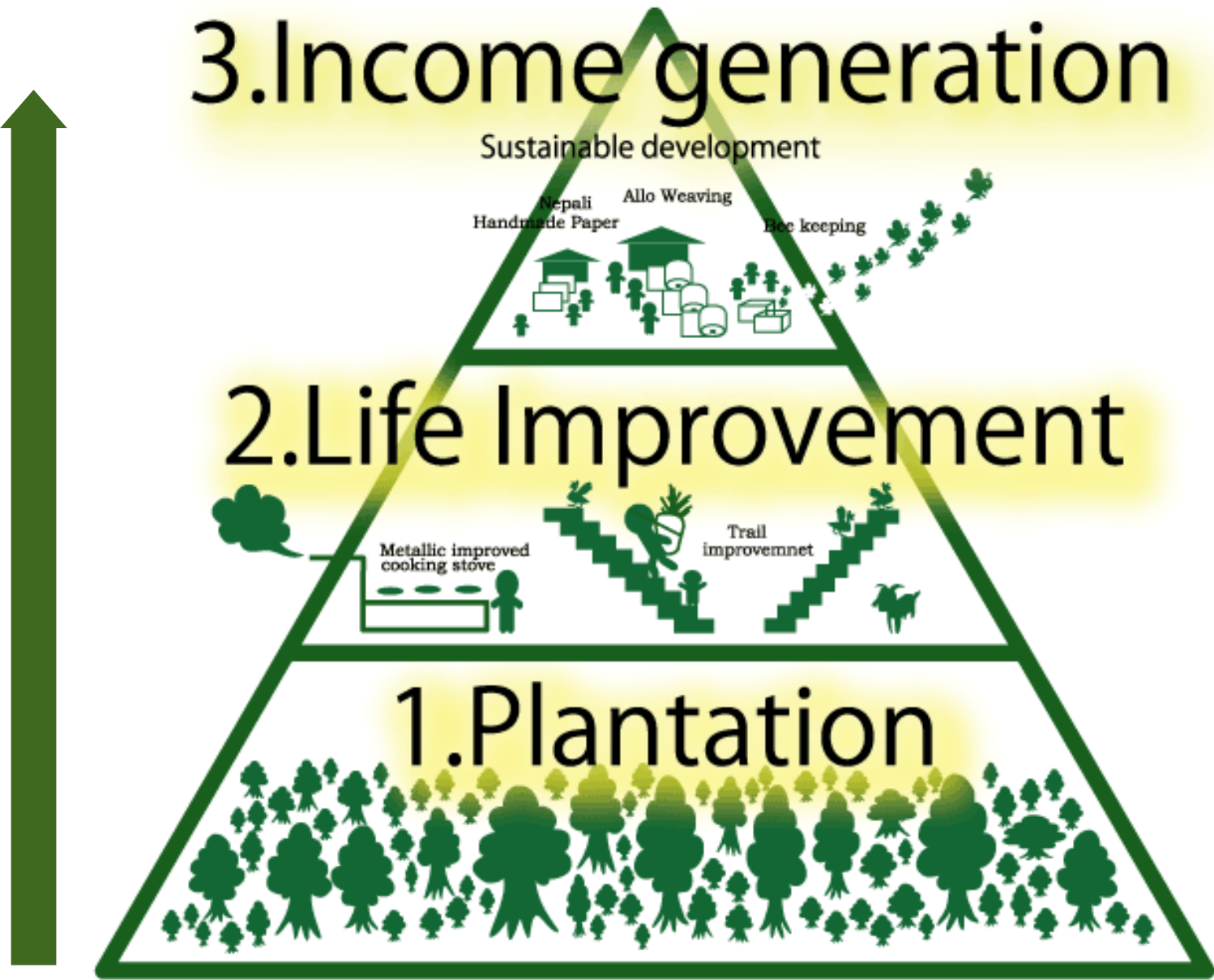
目標のために協力する

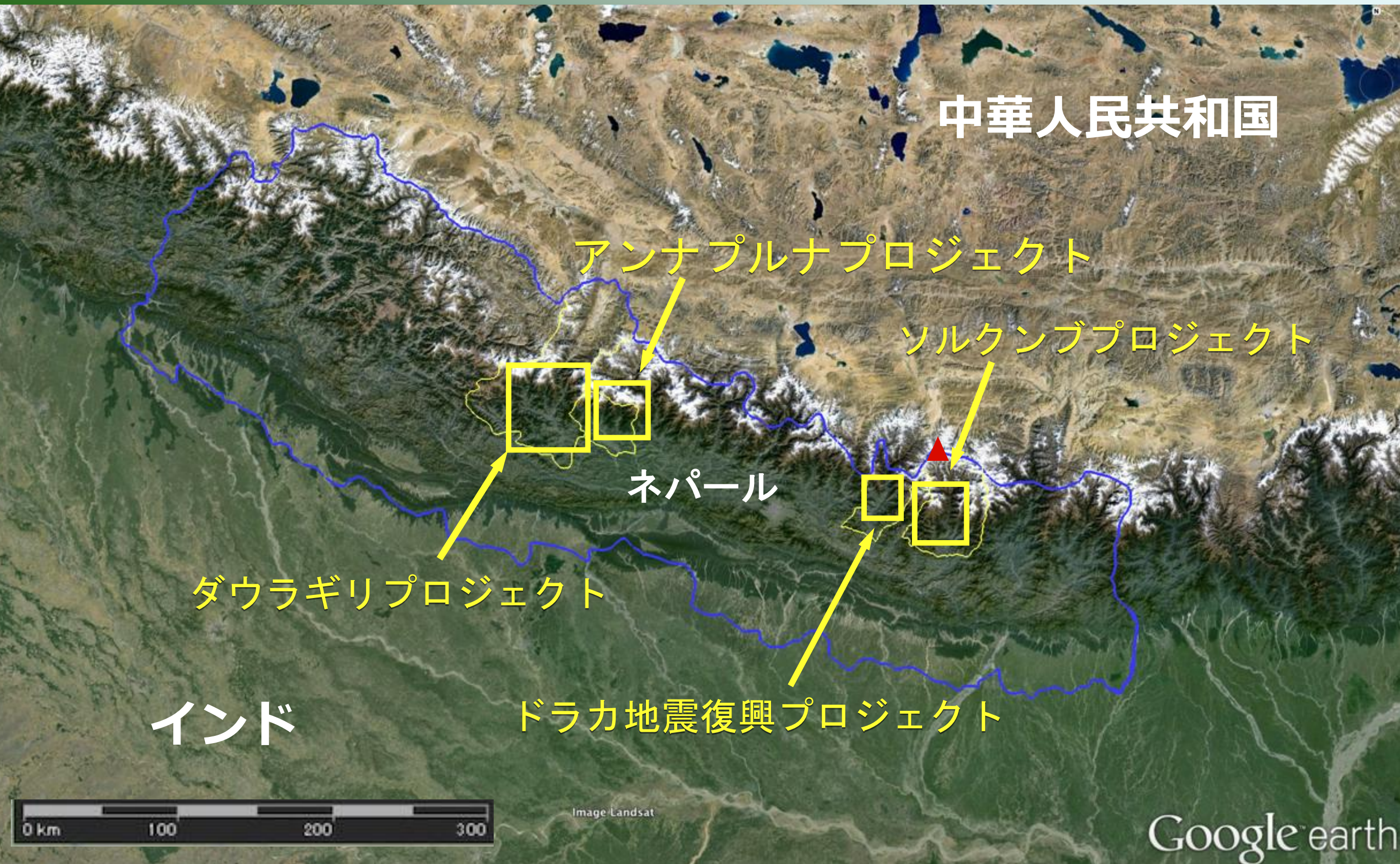
13 CLIMATE ACTION

気候変動への対策

15 LIFE ON LAND

陸上の資源を守る





2・活動地とこれまでの実績 【活動地】

ヒマラヤの大自然を未来につなぐ国際環境NGO
認定NPO法人 ヒマラヤ保全協会
Institute for Himalayan Conservation Japan



2・活動地とこれまでの実績 【活動が必要な背景とは？】



ヒマラヤの大自然を未来につなぐ国際環境NGO
認定NPO法人 ヒマラヤ保全協会
Institute for Himalayan Conservation Japan



2・これまでの活動と実績
【ヒマラヤ植樹20年・100万本】



ヒマラヤの大自然を未来につなぐ国際環境NGO
認定NPO法人 ヒマラヤ保全協会
Institute for Himalayan Conservation Japan



ヒマラヤ山麓 標高2200mの村 苗畑づくり

2・これまでの活動と実績 【ヒマラヤ植樹20年・100万本】



ヒマラヤの大自然を未来につなぐ国際環境NGO
認定NPO法人 ヒマラヤ保全協会
Institute for Himalayan Conservation Japan



2・これまでの活動と実績 【ヒマラヤ植樹20年・100万本】



ヒマラヤの大自然を未来につなぐ国際環境NGO
認定NPO法人 ヒマラヤ保全協会
Institute for Himalayan Conservation Japan



2・これまでの活動と実績 【ヒマラヤ植樹20年・100万本】

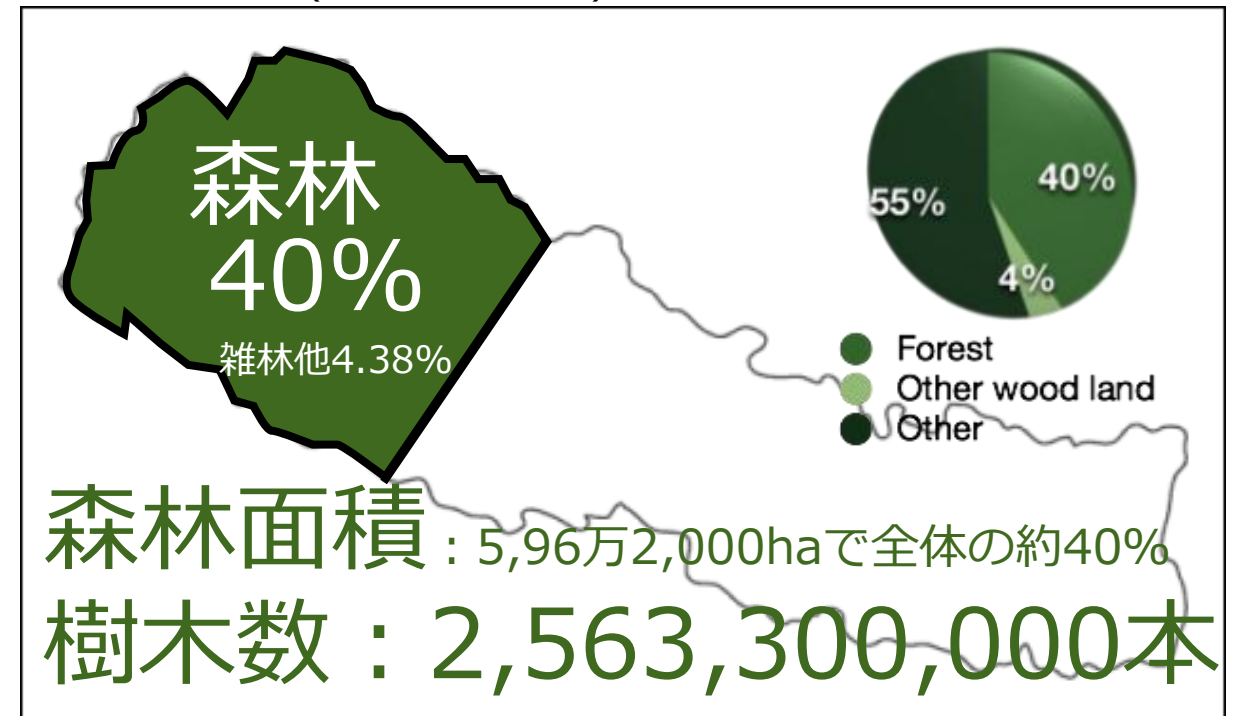
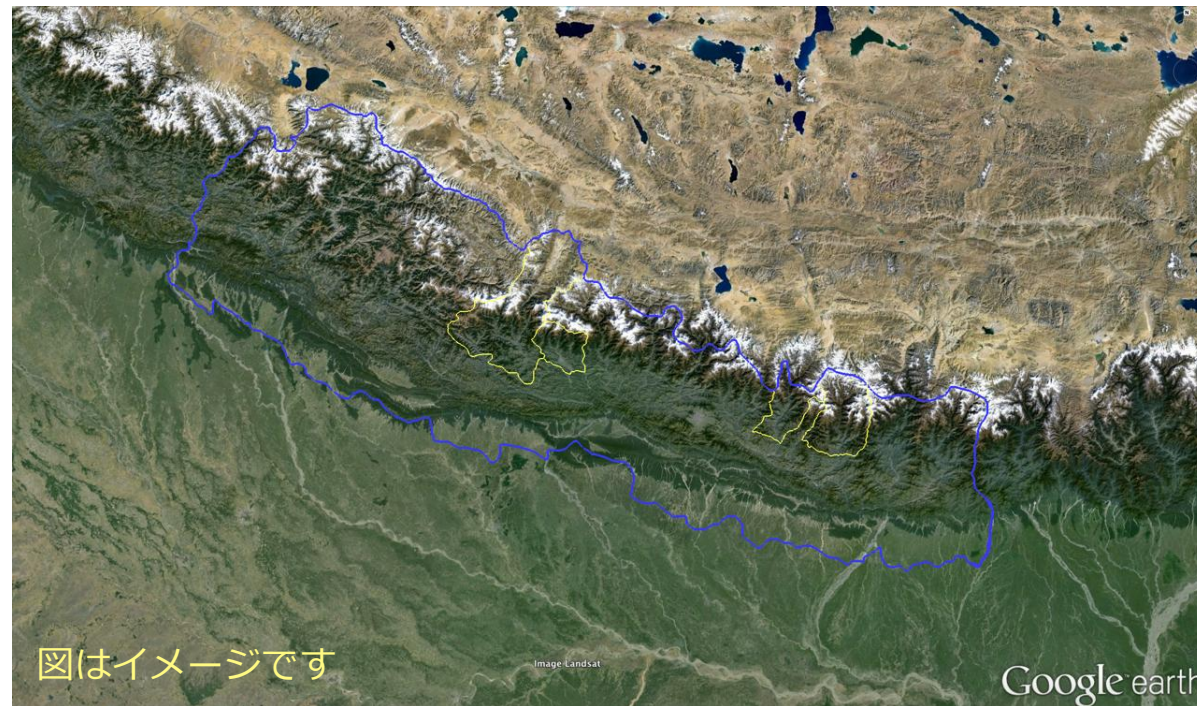


ヒマラヤの大自然を未来につなぐ国際環境NGO
認定NPO法人 ヒマラヤ保全協会
Institute for Himalayan Conservation Japan IHC



ネパール&フィンランド政府による3つの調査と結果
ネパールの森林現状について

2016年3月6日ネパール政府:森林&土壌保全局発表(2010-14データ)



公表された内容 : 1.森林分布図
2.バイオマス含有量算定
3.森林地図の炭素含有量分算定

バイオマス 194.5t /ha

炭素 176.95t c/ha

IHC20年間植林本数 : 1,207,789本
植林面積 : 724.67ha

ヒマラヤ保全協会植林成果 : 4本／10,000本

2・これまでの活動と実績
【ヒマラヤ植樹20年・100万本】



ヒマラヤの大自然を未来につなぐ国際環境NGO
認定NPO法人 ヒマラヤ保全協会
Institute for Himalayan Conservation Japan



シーカ村植林前

2・これまでの活動と実績
【ヒマラヤ植樹20年・100万本】

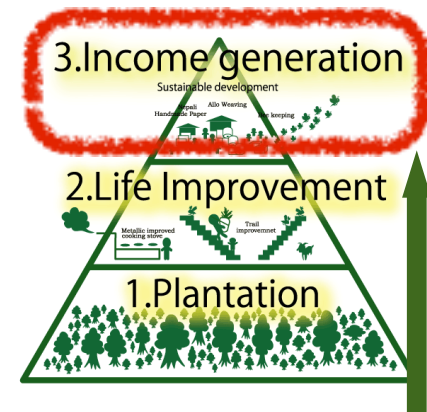


ヒマラヤの大自然を未来につなぐ国際環境NGO
認定NPO法人 ヒマラヤ保全協会
Institute for Himalayan Conservation Japan



シーカ村植林後

非木材林産物(NWFP)から生計向上へ導く



収穫物から製品原料へ



2・これまでの活動と実績
【収入向上事業】 例：織物事業



ヒマラヤの大自然を未来につなぐ国際環境NGO
認定NPO法人 ヒマラヤ保全協会
Institute for Himalayan Conservation Japan



2・これまでの活動と実績
【収入向上事業】 例：織物事業



ヒマラヤの大自然を未来につなぐ国際環境NGO
認定NPO法人 ヒマラヤ保全協会
Institute for Himalayan Conservation Japan



立ち上げメンバーの技術が上がり、安定した品質を織れるようになってきた



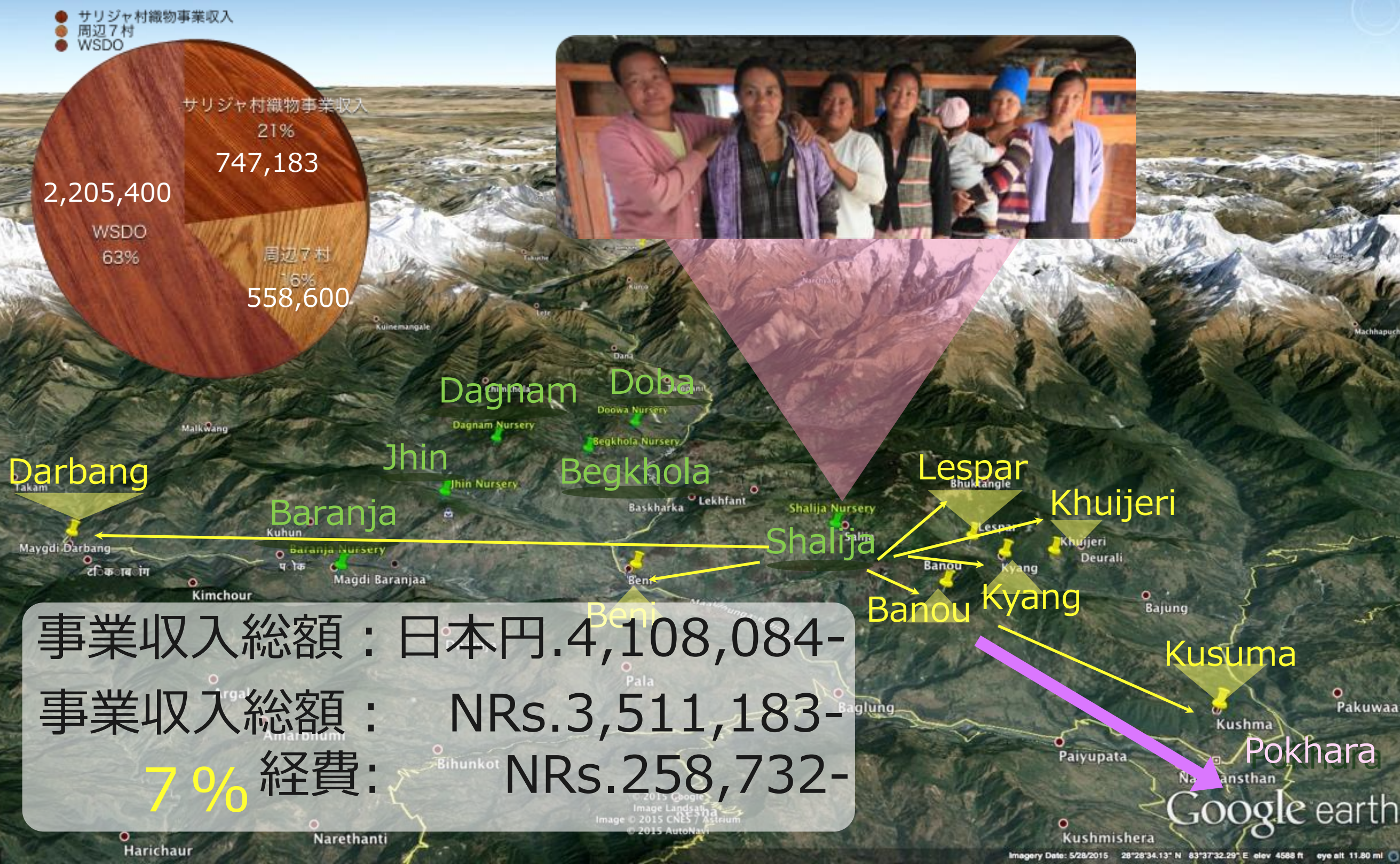
2・これまでの活動と実績 【収入向上事業】 例：織物事業



ヒマラヤの大自然を未来につなぐ国際環境NGO
認定NPO法人 ヒマラヤ保全協会
Institute for Himalayan Conservation Japan



2・これまでの活動と実績
【収入向上事業】 例：織物事業



持続可能な開発の達成：3つの柱

環境



Earth's life
support system

社会



Society

経済



Economy

地球環境が基盤的な必要条件

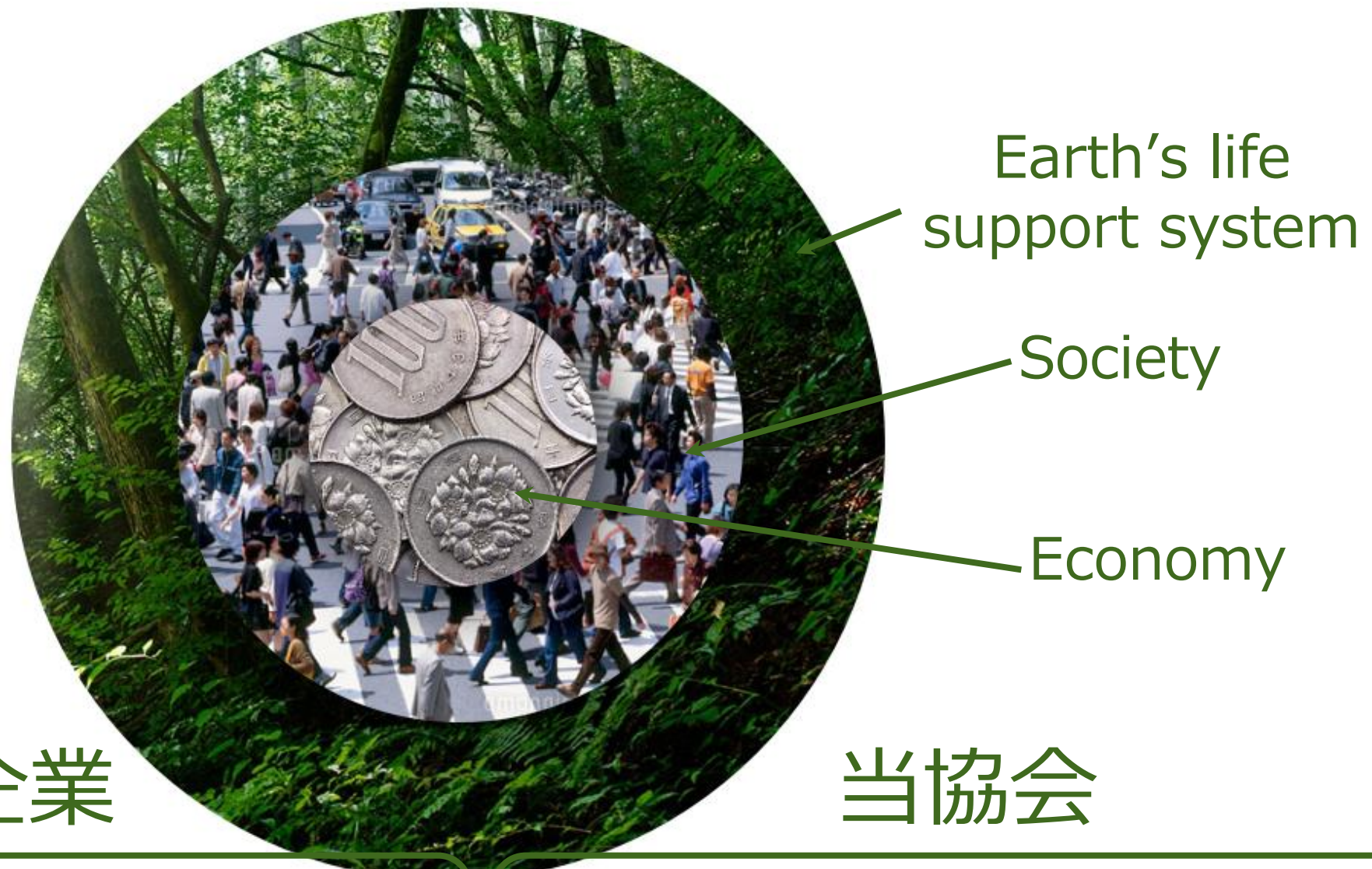


Earth's life
support system

Society

Economy

地球環境が基盤的な必要条件



企業

当協会

最新技術・知的財産・
市場開拓・雇用創出・経済効果
市場の先行きを読み取る分析力

現地のコンテクストを読み取る調査
現地の官民を動かす信頼とネットワーク



課題：科学的調査分析と資金づくり

地球規模の課題解決に向けたパートナーシップ







「あなた」とできること
共通の財産を守るパートナー